

審査結果報告書

2020 年 2 月 4 日

主 査 氏 名 西 山 和 利



副 査 氏 名 岡本浩司



副 査 氏 名 堤 明純



副 査 氏 名 鈴木隆浩



1. 申請者氏名 : DM16026 堀口 愛

2. 論文テーマ :
経皮的冠動脈形成術の既往をもつ心房細動患者における抗血栓療法の推移

3. 論文審査結果 :

心房細動に対する抗凝固薬は塞栓イベント予防の観点から非常に重要である。本邦でも 2011 年に新規経口抗凝固薬が上梓され、それ以降、抗凝固薬処方の割合は増加してきている。一方で冠動脈疾患の患者に経皮的冠動脈形成術 (PCI) が施行された場合には、ステント血栓症予防のために二剤併用抗血小板療法が用いられてきた。このため PCI を実施された心房細動患者では抗凝固薬と抗血小板薬が必要になるが、こうした多剤による抗血栓療法では出血性イベントの危険が高まる。こうした背景に基づいて、申請者は対象となった施設における PCI 施行後の心房細動患者における抗血栓療法の実態と変遷を明らかにした。

審査では申請者による学位論文の解説が行われ、その後の副査および主査からの質問に対して申請者は適切に回答し、学識の高さを示した。副査および主査は学位論文の内容に加え、質疑応答の適確さから、医学博士の学位に相応しいと判断した。